

福島第一原子力発電所の状況

平成 24 年 1 月 26 日
東京電力株式会社

<タービン建屋地下のたまり水の処理>

◇高濃度の放射性物質を含むたまり水の処理設備及び貯蔵設備の状況

[処理設備]

- ・H24/1/16 12:12 第二セシウム吸着装置を起動。12:17 定常流量に到達。
- ・H24/1/17 18:42 セシウム吸着装置を起動。18:45 定常流量に到達。

[貯蔵設備]

- ・H23/6/8～ 汚染水・処理水を貯蔵・保管するための大型タンクを順次輸送、据付。

◇トレンチ立坑・各建屋地下のたまり水の移送状況

号機	排出元→移送先	移送状況
2号機	・2号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/25 21:42～1/26 8:13 移送実施
3号機	・3号機タービン建屋→集中廃棄物処理施設[プロセス主建屋、雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)]	・1/25 21:53～1/26 8:18 移送実施
6号機	・6号機タービン建屋→仮設タンク	・1/26 移送予定なし
移送先		移送先の水位状況 (1/26 7:00 時点)
プロセス主建屋		水位: O.P.+ 4,029 mm(水位上昇累計:5,246 mm) 1/24 16:00 から 298 mm 上昇*
雑固体廃棄物減容処理建屋 (高温焼却炉建屋)		水位: O.P.+ 2,797 mm(水位上昇累計:3,523 mm) 1/25 7:00 から 348 mm 下降

※1/25 7:00 時点の値がカメラ不調によりデータ未採取のため、1/24 16:00 時点の値と比較。

◇トレンチ立坑・タービン建屋・原子炉建屋の水位 (1/26 7:00 時点)

	トレンチ立坑	タービン建屋	原子炉建屋
1号機	O.P.+ 850 mm (1/25 7:00 と同じ)	O.P.+ 2,683 mm (1/25 7:00 から 16 mm 上昇)	O.P.+ 4,282 mm (1/25 7:00 から 29 mm 下降)
2号機	O.P.+ 3,065 mm (1/25 7:00 から 10 mm 上昇)	O.P.+ 3,042 mm (1/25 7:00 から 10 mm 上昇)	O.P.+ 3,205 mm (1/25 7:00 から 9 mm 上昇)
3号機	O.P.+ 3,056 mm (1/25 7:00 から 9 mm 下降)	O.P.+ 2,968 mm (1/25 7:00 から 6 mm 下降)	O.P.+ 3,264 mm (1/25 7:00 から 変化なし)
4号機	—	O.P.+ 2,993 mm (1/25 7:00 から 7 mm 下降)	O.P.+ 3,015 mm (1/25 7:00 から 11 mm 下降)

<放射性物質のモニタリング>

海水核種分析結果(参考値)

採取場所	採取日	採取時間	濃度限度比(倍)		
			ヨウ素-131	セシウム-134	セシウム-137
福島第一 5,6号機放水口北側約30m	1/25	8:40	ND	0.06	0.05
福島第一 1~4号機放水口南側約330m	1/25	8:20	ND	0.03	0.02
福島第二 3,4号機放水口付近	1/25	8:20	ND	ND	0.02

・その他福島県沿岸 1 地点(1/25 採取分)における主要3核種(ヨウ素-131、セシウム-134,137)は全てND。

<使用済燃料プールの冷却> (1/26 11:00 時点)

号機	冷却方法	冷却状況	プール水温度
1号機	循環冷却システム	運転中	16.0 °C
2号機	循環冷却システム	運転中	12.9 °C
3号機	循環冷却システム	運転中	12.6 °C
4号機	循環冷却システム	運転中	22 °C

- 【2号機】・1/19 11:50～ 使用済燃料プールの塩分濃度を低減させるため、塩分除去装置の運転を開始。
 【3号機】・1/14 15:18～ 使用済燃料プールの放射性物質除去のため、放射性物質除去装置の運転を開始。
 【4号機】・1/26 13:31～15:07 使用済燃料プールへヒドラジンを注入(約2m³)。

<原子炉压力容器への注水・原子炉の状況> (1/26 11:00 時点)

号機	注水状況	給水ノズル温度	原子炉压力容器下部温度	原子炉格納容器圧力
1号機	淡水注入中 (給水系:約4.4m³/h, 炉心スプレイ系:約2.0m³/h)	24.0 °C	24.3 °C	106.2 kPaabs
2号機	淡水注入中 (給水系:約8.6m³/h, 炉心スプレイ系:約0m³/h)	47.2 °C	48.4 °C	109 kPaabs
3号機	淡水注入中 (給水系:約8.2m³/h, 炉心スプレイ系:約0.8m³/h)	45.0 °C	53.9 °C	101.6 kPaabs

- 【2号機】・1/25 17:10 原子炉への給水系からの注水について、高台炉注水ポンプからタービン建屋内炉注水ポンプへの切替を実施。
 ・1/26 9:47 原子炉への注水に係る信頼性向上に伴う高台炉注水ポンプの注水配管引替のため、給水系からの注水量を約7.9m³/hから約8.7m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約1.0m³/hから約0m³/hに変更。
 ・1/26 15:31 高台炉注水ポンプの注水配管引替が完了したことから、給水系からの注水について、タービン建屋内炉注水ポンプから高台炉注水ポンプへ再切替を実施。
 ・1/26 15:50 給水系からの注水量を約8.7m³/hから約8.0m³/h、炉心スプレイ系からの注水量を約0m³/hから約1.0m³/hに変更。
 【3号機】・1/26 11:50 原子炉への給水系からの注水について、高台炉注水ポンプからタービン建屋内炉注水ポンプへの切替を実施。
 【4号機】【5号機】【6号機】・特に変化なし

<その他>

- ・H23/10/7～ 伐採木の自然発火防止や粉塵の飛散防止のため、5, 6号機滞留水の浄化水を利用し、散水を継続実施中。
 ・H24/1/11～ 集中廃棄物処理施設のプロセス主建屋と雑固体廃棄物減容処理建屋(高温焼却炉建屋)間のトレンチにおける放射性物質を含む水溜まりの発見(H23/12/18)を受け、発電所構内のその他のトレンチ等の点検を開始。
 ※日々の点検結果については別途参考配布資料を参照
 ・H24/1/25 使用済燃料共用プール建屋にある使用済燃料キャスク等を取り扱う天井クレーンの走行駆動部ギヤーカップリングのカバーのひびについて、当該ギヤーカップリング取替後の荷重試験を行い、問題がないことを確認したことから、当該クレーンの復旧作業が完了。
 ※本件は、H23/10/27 に協力企業にて使用済燃料共用プール建屋にある使用済燃料キャスク等を取り扱う天井クレーンの年次点検を行っていた際、当該クレーンの走行用車軸の連結部ケーシングに割れが発生していることを確認し、その後、破損部は走行駆動部ギヤーカップリングのカバーのひびであることが判明したものに該当するもの。
 ・H24/1/25 2号機原子炉格納容器ガス管理システムの気体のサンプリングを実施。その後、分析の結果、当該システム入口でキセノン 135 が検出限界値(1.1×10⁻¹Bq/cm³)未満であり、再臨界判定基準である1Bq/cm³を下回っていることを確認。

以上